

○北海道開発局は、北海道総合開発計画の推進するため、北海道産業連関表を作成してきた北海道開発局の知見を活用して、北海道の強みである「食」や「観光」を支えている「生産空間」の維持・発展(※1)等に資することを目的に、「小地域産業連関表作成研究会」を立ち上げました。

※1:「生産空間」の維持・発展:第8期北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)の主要施策であり、農業・漁業に係る生産の場かつ、観光その他の多面的・公益的機能を提供している場である生産空間を維持・発展すること。

○「小地域産業連関表」は、市町村などの対象地域における1年間の経済活動を、財・サービスの取引関係からまとめたもので、これを活用すると、生産空間を支えるための施策や取組の効果を検証することや、その結果を非常にわかりやすく対象地域の方々などへ提供することが可能となります。

○このため、研究会では、地方自治体職員等が「産業連関表」を自ら作成し、施策の効果を検証出来るマニュアルやツールを作成することにより、産業連関表の利活用促進にも取り組むこととしています。

○第1回の研究会では、小地域産業連関表作成の基本方針が議論され、当面は、生産空間のモデル地域の一つである名寄市を対象として、小地域産業連関表の作成や関連調査などを行うことになりました。

□小地域産業連関表作成研究会構成員

- ・(一社)地域研究工房 代表理事 小磯 修二 氏
- ・奈良県立大学 地域創造学部 教授 下山 朗 氏
- ・北海道 ・札幌市 ・名寄市
- ・(株)北海道二十一世紀総合研究所
- ・(一財)北海道開発協会 ・国土交通省 北海道開発局

□主なスケジュール(予定)

- 平成30年度 名寄市産業連関表作成のための現地調査等
- 平成31年度 名寄市産業連関表の作成
名寄市産業連関表の検証とマニュアル化に向けた検討等
- 平成32年度 小地域産業連関表作成ツールの作成
経済波及効果算出マニュアルの作成 等

□検討内容(予定)

- ・小地域産業連関表作成ツール・マニュアル作成にあたっての課題の検討、整理
- ・名寄市産業連関表の作成・分析
- ・名寄市の経済波及効果、消費動向等の調査・分析
- ・小地域産業連関表作成ツール・マニュアルの作成
- ・経済波及効果算出マニュアルの作成、効果的な活用方法の検討

第1回研究会(平成31年1月9日)の様子

